

安全データシート

改訂日: 2023年6月26日

1. 製品及び会社情報

製品名
推奨用途
会社名
住所
電話番号

ペルオキシ炭酸ナトリウム
試験研究用
米山薬品工業株式会社
大阪市中央区道修町2丁目3番11号
(06)6231-3555(大阪・本社)
(03)3246-2311(東京) (0268)22-5910(上田)
(052)504-2221(名古屋) (082)537-0290(広島)
BA0083

整理番号

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性
健康に対する有害性

酸化性固体: 区分3
急性毒性(経口): 区分4
急性毒性(経皮): 区分5(UN)
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性: 区分2
特定標的臓器毒性: 区分3(気道刺激性)
(単回ばく露)
水生環境有害性短期(急性): 区分2

環境に対する有害性
ラベル要素
絵表示又はシンボル



注意喚起語
危険有害性情報

危険
火災助長のおそれ: 酸化性物質
飲込むと有害(経口)
皮膚に接触すると有害のおそれ
強い眼刺激
呼吸器への刺激のおそれ
水生生物に毒性
【安全対策】
熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。一禁煙。

注意書き

可燃物から遠ざけること。
可燃物と混合を回避する為に予防策をとること。
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。
取扱い後はよく手を洗うこと。
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。
環境への放出を避けること。
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
【救急処置】
飲込んだ場合: 気分が悪い場合は直ちに医師に連絡すること。
飲み込んだ場合: 口をすすぐこと。
吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合: 医師の診断/手当てを受けること。
気分が悪いときは医師に連絡すること。
火災の場合: 消化する為に適切な消火剤を使用すること。
【保管】
換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。
施錠して保管すること。
【廃棄】
内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

<p>GHS分類区分に該当しない他の危険有害性</p> <p>重要な兆候及び想定される非常事態の概要</p>	<p>分解や溶解した際に、過酸化水素、炭酸ナトリウムに関する危険有害性を考慮する必要がある。</p> <p>該当情報なし。</p>
<p>3. 組成及び成分情報</p>	
<p>化学物質・混合物の区別</p> <p>化学名</p> <p>別名</p> <p>化学式</p> <p>化学物質を特定できる一般的な番号</p> <p>成分及び含有量</p> <p>官報公示整理番号(化審法、安衛法)</p> <p>その他</p>	<p>化学物質</p> <p>ペルオキシ炭酸ナトリウム</p> <p>過炭酸ナトリウム</p> <p>炭酸ナトリウム過酸化水素付加物</p> <p>approx.2Na₂CO₃・3H₂O₂</p> <p>CAS RN:15630-89-4</p> <p>炭酸ナトリウム過酸化水素付加物 100%</p> <p>有効酸素含有量; 11%以上(規格値)</p> <p>(1)-164(炭酸ナトリウム)、(1)-419(過酸化水素)(新規物質として取り扱わない)</p> <p>HSコード: 2836.99</p>
<p>4. 応急措置</p>	
<p>吸入した場合</p> <p>皮膚に付着した場合</p> <p>眼に入った場合</p> <p>飲み込んだ場合</p> <p>急性症状及び遅発性症状の最も重要な兆候症状</p>	<p>被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。</p> <p>直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと、又は取り去ること。</p> <p>皮膚を流水又はシャワーで洗うこと。</p> <p>水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。</p> <p>口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。</p> <p>吸入: 咳、咽頭痛</p> <p>皮膚: 発赤</p> <p>眼: 痛み、かすみ眼</p> <p>経口摂取: 咽頭痛、灼熱感、腹痛</p>
<p>5. 火災時の措置</p>	
<p>適切な消火剤</p> <p>使ってはならない消火剤</p> <p>特有の危険有害性</p> <p>特有の消火方法</p> <p>消火を行う者の保護</p>	<p>粉末消火剤、二酸化炭素、多量の水(ただし、注水が不十分だと危険性に示すような現象となるおそれがある。)</p> <p>棒状注水</p> <p>燃焼性はない。火災等の熱により加熱されると分解して酸素ガスを発生し、火災を助長することがある。</p> <p>水を噴霧して容器類を冷却するが、この物質に水が直接かからないようにする。</p> <p>移動可能な場合は、速やかに火災場所から離れた安全な場所に移す。</p> <p>消火作業は保護具を着用し、風上から行う。周辺火災に適した消火剤を用いる。</p> <p>適切な空気呼吸器、防護服(耐熱性)を着用する。</p>
<p>6. 漏出時の措置</p>	
<p>人体に対する注意事項、保護具および緊急措置</p> <p>環境に対する注意事項</p> <p>封じ込め及び浄化の方法及び機材</p>	<p>作業の際には適切な保護具を着用し風上から作業して、風下の人を退避させる。</p> <p>環境中に放出してはならない。</p> <p>こぼれた物質を乾燥したふた付プラスチック容器内に掃き入れる。</p>
<p>7. 取扱い及び保管上の注意</p>	
<p>取扱い</p> <p>技術的対策(局所排気、全体換気等)</p> <p>安全取扱い注意事項</p> <p>接触回避</p> <p>衛生対策</p> <p>保管</p> <p>安全な保管条件</p> <p>安全な容器包装材料</p>	<p>「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。</p> <p>「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の局所排気、全体換気を行う。</p> <p>空気中の濃度をばく露限度以下に保つために排気用の換気を行うこと。</p> <p>屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。</p> <p>10項に示す混触危険物質との接触を回避する。</p> <p>取扱い後はよく手を洗うこと。</p> <p>この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。</p> <p>容器を密閉して換気のよい涼しい場所で保管すること。</p> <p>ポリプロピレン、ポリエチレン</p>
<p>8. ばく露防止及び保護措置</p>	
<p>許容濃度(ばく露限界値、生物学的ばく露指標)</p>	

管理濃度	未設定
日本産衛学会	未設定
ACGIH	未設定
設備対策	この物質を貯蔵ないし取扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。
保護具	
呼吸器の保護具	換気が不十分な場合には、適切な呼吸器保護具を着用すること。
手の保護具	適切な保護手袋を着用すること。
眼の保護具	化学飛沫用のゴーグル及び適切な顔面保護具を着用すること。
皮膚及び身体の保護具	適切な保護衣、顔面用の保護具を着用すること。
9. 物理的及び化学的性質	
物理状態	結晶性粉末
色	白色
臭い	無臭
融点・凝固点	該当情報なし。
沸点又は初留点及び沸点範囲	該当情報なし。
可燃性	不燃性(ただし、他の物質の燃焼を助長する。)
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	該当情報なし。
引火点	該当情報なし。
自然発火温度	該当情報なし。
分解温度	50°C
pH	水溶液はアルカリ性
粘度(粘性率)	該当情報なし。
溶解度	14g/100mL(20°C)
n-オクタノール/水分分配係数	該当情報なし。
蒸気圧	該当情報なし。
比重(相対密度)	2.1g/cm ³
相対ガス密度	該当情報なし。
粒子特性	該当情報なし。
10. 安定性及び反応性	
反応性、化学的安定性	熱や分解を促進する物質との接触によって分解する。 吸湿や水ぬれによっても分解が誘発、促進される。 分解時は酸素ガス、水(または水蒸気)及び熱を発生する。 熱がこもると分解が加速され、急激に分解して高温に達することがある。
危険有害反応可能性	金属や、金属塩、有機物、酸、還元剤と反応する。 水と接触すると分解し、火災および爆発の危険をもたらす。
避けるべき条件	日光、熱、その他の発火源との接触。混色危険物質及び、紙・布・木材等の可燃物との接触。
混触危険物質	重金属類およびその塩類、還元性物質、酸性物質、酸化されやすい有機物、紙・布・木材等の可燃物、潮解性物質等。
危険有害な分解生成物	過酸化水素、炭酸ナトリウム、ナトリウム酸化物、酸素(火災助長)
11. 有害性情報	
急性毒性	経口 : ラットのLD50値: 1034~2200mg/kgに基づき区分4とした。 経皮 : ウサギのLD50値: >2000mg/kgに基づき、区分5とした。(JIS区分外) 動物実験で軽い刺激性が報告されている。(分類できない) ウサギの眼に対して重度の刺激性(洗浄なし)を有したという報告がある。(区分2)
皮膚腐食性及び皮膚刺激性	
眼に対する重篤な損傷性又は刺激性	
呼吸器感作性又は皮膚感作性	呼吸器: 該当情報なし。(分類できない) 皮膚 : 該当情報なし。(分類できない)
生殖細胞変異原性	該当情報なし。(分類できない)
発がん性	該当情報なし。(分類できない)
生殖毒性	該当情報なし。(分類できない)
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	気道を刺激する。(区分3(気道刺激性))
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	該当情報なし。(分類できない)
吸引性呼吸器有害性	該当情報なし。(分類できない)
12. 環境影響情報	
生態毒性	短期(急性): ミゾコ(甲殻類)の急性LC50値は4.9mg/Lという報告がある。(区分2) 長期(慢性): 該当情報なし。

残留性・分解性
生体蓄積性
土壤中の移動性
オゾン層への有害性

該当情報なし。
該当情報なし。
該当情報なし。
当該物質はモントリオール議定書の附属書列記されていない。

13. 廃棄上の注意

産業廃棄物処理認定業者に委託して処理する。

14. 輸送上の注意

国連番号

品名(国連輸送名)

国連分類

容器等級

輸送又は輸送手段に関する特別の安全対策

国内規制

陸上輸送

海上輸送

航空輸送

応急措置指針番号

過炭酸ナトリウム

クラス5.1(容器等級ⅢでありGHS分類は酸性固体区分3)

Ⅲ

運搬に際しては容器に漏れないことを確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷ぐずれの防止を確実にを行う。

3378

道路法の規定に従う。

船舶安全法の規定に従う。

航空法の規定に従う。

140

15. 適用法令

化学物質管理促進法(PRTR法)

毒物及び劇物取締法

労働安全衛生法

消防法

船舶安全法

航空法

指定化学物質に該当しない。

毒物及び劇物に該当しない。

名称等を表示し、又は通知すべき有害物[施工令別表9]に該当しない。

危険物に該当しない。

酸化性物質類・酸化性物質(危規則第2条危険物告示別表)

酸化性物質類・酸化性物質(施行規則第194条)

16. その他の情報

引用文献

国際化学物質安全性カード(ICSC)

OECD既存物質初期評価

記載内容のうち、含有量、物理／化学的性質等の数値は保証値ではありません。危険・有害性の評価は、現時点で入手できる資料・情報 データ等に基づいて作成しておりますが、すべての資料を網羅した訳ではありませんので取り扱いには十分注意して下さい。